

## 昇圧回路V-UP16 バイク用結線図 TCI(フルトラ)専用

V-UP16の基本配線です  
 赤色 (+12V入力)  
 橙色 (+16V出力)  
 黒色 (アース)

イグニッションコイルの+側の配線を抜き 抜いた配線をV-UP16の赤色に接続してください  
 V-UP16の橙色(出力)をイグニッションコイルの+側へ接続してください  
 V-UP16の黒色(アース)はボディまたはバッテリーのマイナスへ確実にアースしてください

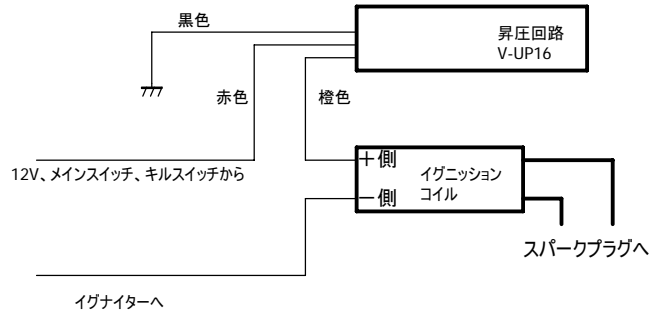
バッテリーCDI点火装置とは接続方法が違いますので  
 バッテリーCDIへ取り付けの場合は お問い合わせください

イグニッションコイルの+側がわからない場合は 下記の方法で確認してください

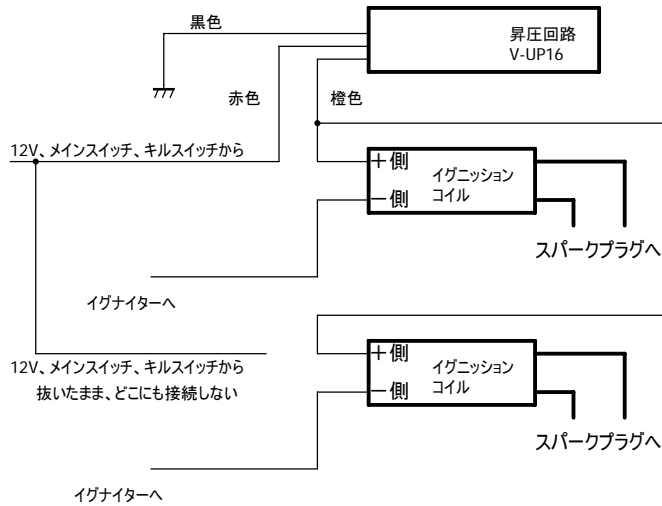
イグニッションコイルに接続されているコードを すべて抜いてください  
 (1箇所でもイグニッションコイルにコードが接続されていると すべて同じ電位になります)  
 その状態で メインキーをON、キルスイッチをRUN(ON)の状態にして エンジンが始動できる状態にします  
 テスターの電圧計測レンジで 先ほど抜いた1コイルあたり2本の配線の電圧を計測します  
 どちらかにバッテリー電圧(+12V)が来ています これが+側となります  
 すべてのコイルをこの方法で極性を確認してください

イグナイターの種類によっては 一側に+10V以下の電圧が来ている場合があります  
 この場合2本の配線のうち 電圧が高いほうが+側となります

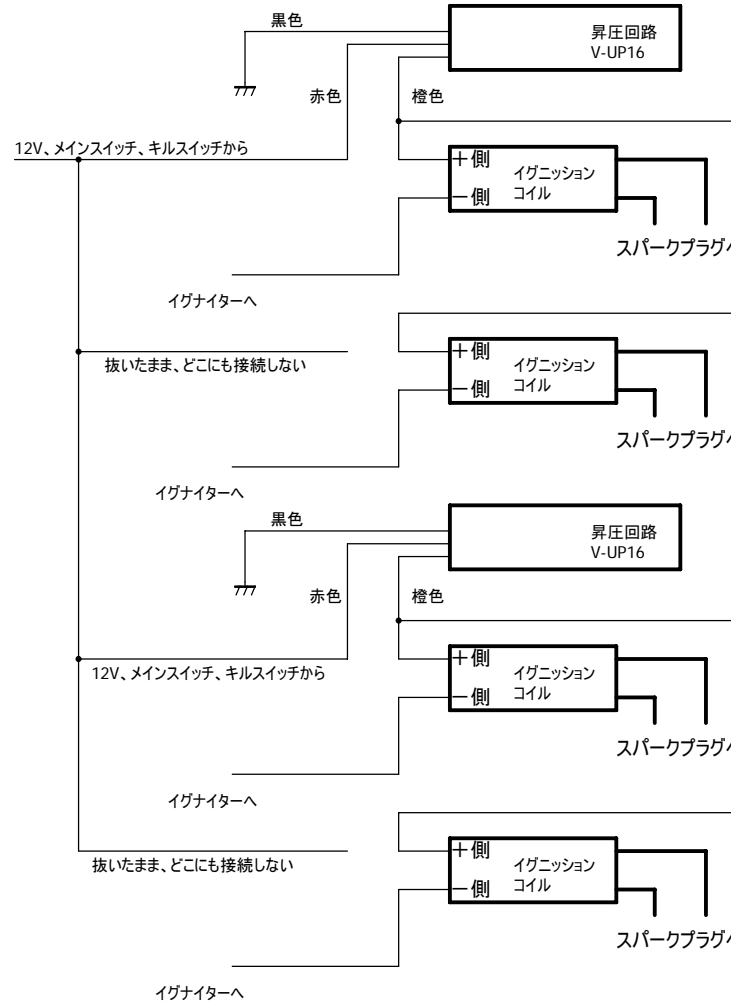
### イグニッションコイルが 1個の場合



### イグニッションコイルが 2個の場合



### イグニッションコイルが 4個の場合



### 注意

V-UP16を2個使用する場合

2本の出力、橙色どおしは  
 絶対につながないでください  
 片側のみに負担がかかり  
 故障の原因になります  
 必ず 左の結線図のように  
 V-UP16、1個で コイル2個に  
 供給できるように結線してください

### 全体の注意事項

今までコイルに接続されていた  
 使用しない+側の配線は  
 ショートしないように テープ等で  
 絶縁処理をしてください

イグニッションコイルですが  
 結線図では 1コイル2本プラグで  
 書いてありますが  
 1コイル1本プラグでも同じです  
 あくまで コイルの個数を基本として  
 結線してください